

2 空間内に、3点 $A_0(1, 0, 0)$, $A_1(1, 1, 0)$, $A_2(1, 0, 1)$ を通る平面 α と、3点 $B_0(2, 0, 0)$, $B_1(2, 1, 0)$, $B_2(\frac{5}{2}, 0, \frac{\sqrt{3}}{2})$ を通る平面 β を考える.

- (1) 空間の基本ベクトルを $\vec{e}_1 = (1, 0, 0)$, $\vec{e}_2 = (0, 1, 0)$, $\vec{e}_3 = (0, 0, 1)$ とおくと、ベクトル \vec{OA}_0 , $\vec{A_0A_1}$, $\vec{A_0A_2}$, $\vec{OB_0}$, $\vec{B_0B_1}$, $\vec{B_0B_2}$ を $\vec{e}_1, \vec{e}_2, \vec{e}_3$ で表せ. ただし、 O は空間の原点を表す.
- (2) 原点 O と α 上の点 P を通る直線が β 上の点 P' も通っているとする. $\vec{OP} = \vec{OA_0} + a\vec{A_0A_1} + b\vec{A_0A_2}$, $\vec{OP'} = \vec{OB_0} + p\vec{B_0B_1} + q\vec{B_0B_2}$ とおくと、 a, b を p, q で表せ.
- (3) 点 P が α 上の点 A_0 を中心とする半径 1 の円 C の円周上を動くとき、点 P' が動いてできる図形 C' の方程式を (2) の p, q で表し、 C' が楕円であることを示せ.